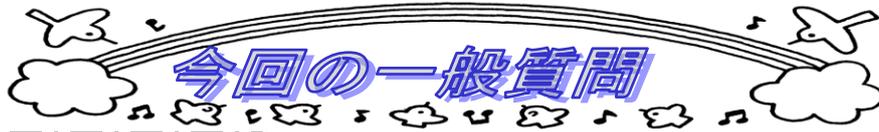


絆

赤井むつみ後援会便り第67号

笑顔あふれる温かい町に！

2025年3月 発行



1. ふるさと納税の取り組みは？

ふるさと納税の人気商品が入手できない？となったとたん、八雲町の財政危機！という声が聞こえてきました。町長は、いつまで続くかわからないふるさと納税に頼らない財政運営を行う、とおっしゃっていましたが、大きく依存していたのですか。それだけ重要な位置を占めるふるさと納税に対し、町として今までどのような取り組みを行ってきたのでしょうか。

- (1) 返礼品の新規開拓はどのように？
- (2) 原材料確保のための協力は？
- (3) 体験型ふるさと納税の導入は？
- (4) 民間委託に移行する方向は？

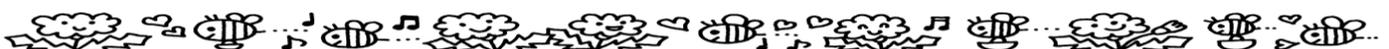
答 弁 R5 年度一般会計決算歳入の 17.6%と地方交付税に次ぐ貴重な財源となっているため、寄付額の増減が町財政を左右する要因となっている。そのため町としては、寄付者の目に留まりやすいように募集サイトを 5 サイトから 12 サイトに拡充。(1)返礼品提供業者を対象に勉強会を開催し、既存返礼品のブラッシュアップ&地場産品の開発に努めている。(2)町としては原材料確保等の支援は行っていないが、R6 年度から設備導入支援事業を実施し、事業の有効活用について PR していく。(3)体験型の返礼品は H29 年に町内業者から提供を受けたが、現在は取り扱っていない。今後、体験型の返礼品の開拓について取り組んで行く。(4) 募集事務に関しては、寄付金募集サイトの運営管理、寄付金の決算管理、返礼品の配送管理や在庫管理、税控除の受付業務など膨大な作業があるため、これらの業務を R5 年度から専門的に取り扱っている民間業者に委託している。委託料は返礼品・調達に関する経費が 26%、募集に関する経費は 23.8%となり、総務省のルール 5 割を守っている。

再質問

以前、同僚議員が「クラウドファンディング型ふるさと納税」や、株式会社木蓮に商品開発を委託することを提唱し、検討するとの答弁でしたが、検討の結果はどうなっているのでしょうか。また、ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合会が 2008 年に創設され、ともに情報共有しながら意識の向上を図っているのので、八雲町も加盟すべきではないでしょうか？

答弁

あの頃はまだ、クラウドファンディング型について理解が浅かったが、これからはいろいろな方面から考えられると思う。商品開発についても実現に至っていないが、これから話を深めていく。自治体連合会の共同代表には、ずっと以前からいろいろな話を聞いているので、勉強を深め地域の活性化につなげていきたい。



2 地域の教育力アップと存続に民間力を！

地域に高校があるという事は、人口減少が進む八雲町にとってとても重要なことです。ただ、高校は道立で町の管轄外となるため、今まで協働はなかなか困難でした。この状況を何とかし、生徒に選ばれる学校を目指していこうと、今、全国で「高校魅力化プロジェクト」が取り組まれています。八雲町でも是非、こうした民間力を活用して教育を中心とした街づくりに取り組んではいかがでしょうか。

答 弁

八雲高校においては、進路指導の面で習熟度別の教科指導や放課後講習、就職希望者へ早期の個別指導などにより、近年生徒の進学や就職に目覚ましい成果が見られる。キャリア教育の面でもR7年度からコミュニティスクールが導入されることにより、これまで以上に地域と連携・協働したキャリア教育が展開されることで、町民が支えあうまちづくりに好影響をもたらすと考えている。地域が求める学校の姿を学校運営協議会の中でしっかりと議論し、こちら側からも高校にどんどん近寄ってもらう事が大事。以前は、知財法の関係で難しかったが、福島商業の寮のように、その町で高校の支援の必要性をしっかりと総合計画に盛り込んで取り組むことが道教委のスタンスとなり、町と共に進めていく姿勢が高まってきている。二十歳の集いの代表者挨拶で、「自分は先輩方に世話になりながら、一生懸命八雲で働いている。そうした中で八雲がすごく好きになった。僕はここにいるからみんないつでも戻ってきて」という素晴らしい挨拶を聞いて、高校生・中学生に少し先輩の若者から八雲の良さを伝えてもらう事の大切さを改めて実感。社会教育の予算で対応ができるかもしれない。(教育長)

お金と人材を惜しまず、人材育成に力を入れていく。(町長)



2025年度の予算決定！

3月の八雲町議会定例会では、予算特別委員会が設置され、2025年度予算について審議し、本会議で下記の通り決定（可決）いたしました。

項 目	2025年度予算額	2024年度予算額
一 般 会 計	155億 2,300万円	165億 2,300万円
国民健康保険事業特別会計	22億 5,323万 2千円	24億 3,948万 3千円
後期高齢者医療特別会計	2億 9,605万 7千円	2億 8,907万 6千円
介護保険事業特別会計	21億 3,714万 8千円	21億 4,363万 9千円
水道事業会計	7億 1,413万 2千円	7億 3,151万 9千円
熊石地域簡易水道事業会計	2億 184万 6千円	1億 6,042万 3千円
下水道事業会計	15億 6,300万円	1億 2,670万 9千円
農業集落排水事業会計	3億 324万 7千円	3億 843万 9千円
病院事業会計	86億 3,618万 6千円	96億 9,233万 3千円
合 計	316億 2,784万 8千円	335億 1,462万 1千円

○ 前年度比 18億 8,677万 3千円 5.6%の減額となりました。

○ 貯金（基金） 約 131億 2,675万円（2025年度末見込み）約 13億 7,991万円減

○ 借金（地方債） 約 114億 1,414万円（2025年度末見込み）約 10億 8,549万円減



主要内容



町民の安心安全、活力ある町を目指しています。
町民みなさまが、幸せを実感出来ますように！

＜一般会計の事業の一部と経費＞

総務費：8億5,214万1千円（62.4%減） 新庁舎の設計終了のため大きく減額

- ・北海道新幹線整備事業負担金：1億554万8千円（事業期間 H26年～R12年）
- ・自治体情報システム標準化・共通化事業：1億1,507万7千円（住民記録や税などの基幹業務システムを自治体情報システム標準化・共通化に対応させるためのシステム改修等）

民生費：26億6,550万1千円（7%増）

- ・自立支援給付費：6億9,905万4千円（介護給付・訓練等給付費等）
- ・子ども医療費助成事業：5,177万3千円（18歳年度末までの子どもが対象）

衛生費：27億531万4千円（8.9%増）

- ・健康増進事業：1,704万3千円（各種がん検診、健康教育、健康相談等）
- ・春日地区水道施設整備事業：4,163万3千円（新幹線開業に向け、春日地区水道施設の整備）

労働費：8,612万3千円（9.2%増）

- ・U・Iターン就職奨励金事業：2,500万円（実施期間はR4年度～R7年度）

農林水産業費：6億9,258万9千円（41.5%減）

- ・新規作物導入事業：1,303万2千円（町内産ブドウを原料としたワイン醸造とワイナリー設立に向けた事業に要する経費）
- ・サーモン種苗生産施設整備事業：7,828万2千円（サーモン施設拡張のための設計業務等）

商工費：25億7,381万3千円（503.2%増）

- ・ウイスキー蒸留所誘致事業：1億1,912万5千円（ウイスキー蒸留所建設工事へ補助金等）
- ・鉛川レクリエーション施設老朽化対策事業：2,469万1千円（窓ガラス取換え、温泉施設休業補償他）

土木費：9億7,823万2千円（19.2%減）

- ・除雪対策費：2億5,402万7千円（全町の除雪にかかる費用）
- ・道路・側溝等維持改修事業：5,590万円（本町八高通線、遊楽部川沿線路側帯等改修工事）

消防費：1億4,569万7千円（4.3%減）

- ・消防団員被服整備事業：883万3千円（冬服136着）

教育費：6億2,310万円（0.1%減）

- ・GIGAスクールネットワーク整備事業：小学校5,117万5千円 中学校3,075万円
- ・温水プール施設整備事業：1,134万6千円（電解次亜生成装置の更新）

公債費：15億60万1千円（増減なし）（これは、借金の返済にかかるお金です）

職員費：25億9,404万2千円（18.4%増）

2025年度は一般会計と特別会計、企業会計を合わせて総額316億2,784万8千円の予算となり、昨年より18億8,677万3千円（5.6%）減となりました。収入では地方交付税は0.8%増の52億4,730万4千円、町税は1.2%増の20億1,165万2千円を見込んでいます。

目玉となる事業はサーモン種苗生産施設整備、ウイスキー蒸留所誘致事業等産業中心ですが、人口減少で事業所が募集しても人が集まらない今、このままでは農業・漁業・商業の維持が人手不足で難しくなってしまいます。新しい産業を生み出す以上に、既存の産業の存続のためにもっと注力すべきだと思います。笑顔あふれる八雲町を目指すためにも、協働の力で互いに知恵を出し合い、出来ることから始めていかなければならないと思っています。私達が納めている税金が、町民の幸せにつながるように情報共有をしっかりと行い、チェックも欠かさず行っていきます。

気になる主な事業

(これからも要チェック!)

☆地域公共交通網形成事業：3,482万8千円

桧山海岸線（太田～熊石）及び熊石八雲間予約バスの運行、町地域公共交通活性化協議会補助金→免許を返納しても買い物、通院に不安がない環境になるにはまだまだ時間が必要そうです。

★地域会館解体事業：849万2千円

折戸振興会館老朽化による解体工事→1件の解体にこの金額。今後、維持・管理・解体に経費はどのくらいかかるのかしっかりと調査し、合理化できる方法をみんなで考えて行きましょう。

☆公用スマートフォン導入事業：2,809万1千円

職員一人にスマートフォン1台。初期導入費597万7千円、利用料2,211万4千円。町民から見ると便利になると思いますが、職員はますます忙しくなりそうですね。

★福祉タクシー助成事業：943万2千円

障がい者の皆さんに年間12,000円以内が支給されています。住んでいる地域によっては、通院だけでなくなくなってしまおうと聞きました。公共交通ができるまで地域格差対応も必要ですよ。

☆U・Iターン就職奨励金事業：250万円

U・Iターンで正規雇用された人に対し、初年度30万円の奨励金、2年目20万円の商品券。

★熊石地域放課後子ども対策事業：204万2千円

ふれあい交流センターくまいし館を開放し、放課後の子どもたちの居場所を提供。平均利用者は11人。保育園児も11人という事なので、保育園を活用した方が子育てには良い影響では？

☆带状疱疹ワクチン予防接種事業：741万6千円

带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成。65歳から100歳まで5年ごとが対象です。带状疱疹はとても痛いと言いますし、後遺症もつらいとのことですから、接種の検討もありですね。

★サーモン種苗生産施設事業：7,828万2千円

種苗生産施設の拡大に向けた調査・設計業務。設計費がこんなにかかるのですから、建設費は?! 立派な建物ができて、働く人の確保はできるのだろうか?最低でも30年は継続しなければ!

☆ウイスキー蒸留所誘致事業：1億1,912万5千円

蒸留所建設工事に伴う補助金。補助金にこの金額?町長から後々この施設がお金を生み、町に入ってくると説明がありましたが、人手不足の影響はないのでしょうか?

★熊石小学校暖房用設備更新事業：448万5千円

地下埋設油タンク腐食による廃止及び、地上油タンク・防油堤設置、燃料配管敷設→冬を考えると絶対必要ですが、義務教育学校として使用する校舎でも活用できるよう工夫してほしいですね。

☆町民センター改修事業：584万1千円

トイレの改修を行い便利になります。しかし、避難所は旧養護学校体育館を予定しているとのこと、町民センターの今後はまだ未定。このトイレは、どこかで活用できなければもったいない!

※ この予算が、町民の幸せにつながるよう、しっかりとチェックしていきますので、ご意見・ご感想を是非、よろしくお願いたします。

赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126

携帯電話=080-5588-2090 (赤井)

赤井自宅 栄町56-12 (3区) 63-2090 (FAX 兼)

メールアドレス yuurappu@kta.biglobe.ne.jp HPは『赤井むつみ』で検索を!

